



2020.10.29

# とばめぐみ NEWS

No.88

## 「大和田一丁目に小学校建設を早期に求める会」



## 10月20日、市教育委員会に要望書を提出しました 過大規模校で今苦しむ子どもたちを犠牲にしてもPFI??

新設大和田地区小学校は当初2023年開校予定でしたが、区画整理で1年遅れ、PFI方式導入検討で1年遅れ、2025年4月開校を予定しています。

「大和田一丁目に小学校建設を早期に求める会」はPFI導入と公共施設を複合化することをやめ一日も早い建設を求める要望書を提出し、市教育委員会と懇談しました。2020年度は整備手法検討調査の年ですが、「検討した結果、PFI方式を導入することになった場合、もう1年延びる」という市の説明に、一堂唾然。「いつまで待たせるのか」「近隣過大規模校（大砂土東小、大谷小等）の実態が分かっているのか」「PFI方式導入のために今の子どもたちを犠牲にすることは許されない」「新しい

生活様式が保証できる学校を」と、次々に意見が出され、一日も早い建設を強く求めました。

PFI方式の導入と一緒に検討されているのが複合化。公民館、保育所、放課後児童クラブ、スポーツ施設、駐車場等の複合化が検討されています。

参加者からは「もともと小学校建設のために確保した敷地のはず」「大砂土東公民館は駅に近くて子どもからお年寄りまでが地域の拠点となっている。現地で存続を」「東大宮地域は今よりさらに公民館が遠くなる」「保育所には保育所のふさわしい環境がある。複合化はやめるべき」と次々に意見が出されましたが、市教育委員会は終始「検討中」という答弁でした。会はこれから署名に取り組みます。



裏へ

### とばめぐみ 生活相談所 & 法律相談

東新井生活相談所  
毎週水曜日14:00～16:00  
東新井4-17  
☎048-686-7069

大和田・堀崎生活相談所  
毎週火曜日14:00～17:00  
大和田2丁目1347-4  
☎048-684-9555

東大宮生活相談所  
第1第3水曜日  
13:00～17:00  
東大宮4-27-1  
☎048-652-5242

蓮沼生活相談所  
毎週水曜日10:00～12:00  
蓮沼471  
☎048-685-6240

弁護士法律相談：要予約  
毎月第2金曜日  
18:00～20:00  
大和田・堀崎生活相談所  
お申込み☎048-829-1811  
(さいたま市議団)

# 決算特別委員会2019年度決算反対討論（略）



❖ 2019年度における一般会計及び特別会計の決算は過去最大の財政規模で、実質収支は17億4千9百万円で、連続黒字です。

❖ 昨年は消費税増税、台風19号、新型コロナウイルス感染症が市民の暮らしと営業に襲い掛かった1年です。市民の暮

らしは、10年前に比べて収入は13万円増ですが、税負担も16万円増で、差し引き3万円の負担増。65歳以上の年金者は25万円の収入減となっています。さらに加入世帯の約8割が、年収200万以下の国民健康保険は、昨年の値上げにより市民の負担は8億8千万円の増となりました。

❖ 一方、法人市民税収は11億3千8百万円も減っています。法人市民税は度重なる減税で5年間で287億円もの減収です。

❖ 医療福祉の分野では、対象者の縮小、制度の廃止による市民への影響額は約21億9千5百万円にもなりました。

❖ 保育所の待機児童は全自治体ワーストワン、政令都市における市民1人当たりの公共施設の面積や文化芸術費は最下位、市民負担増と福祉削減を行い、必要な市民サービスも抑制し続けた一方で、2都心4副都心を中心とした大型開発を続け、基金は693億円も積み上げたままの財政運営は問題です。

❖ 過去最大の財政の中心に、地方自治体の使命である住民の福祉の向上が据えられていない昨年度決算は認められません。

❖ 新型コロナウイルス感染症をめぐっては、初動の対応がはなはだしく遅れ、保健所にも病院にもゆとりがなく、検査を絞り込んで市民を混乱させました。国の様子見、対策待ちで、危機に対して機敏な対応ができていません。感染症において重要な役割を果たす健康科学研究センターの職員体制は横ばいで、これではコロナ危機を乗り越えることはできません。保健所との連携をさらに強化し、研究センターの職員増、保健所の増設、体制強化は緊急課題です。

❖ 公共施設は大きな複合施設ではなく、災害時の避難も鑑みて、どこに

住んでいても気軽に利用できる公共施設があることが、市民の願いです。公共施設マネ



ジメント計画で定めた「ハコモノ三原則」「インフラ三原則」に基づく、施設総量の縮減や複合化共用化をすすめる姿勢は改めるべきです。

❖ 市職員の働き方は、過労死ラインを超えて働く職員が存在し、特定の部局に大きな負担がかかっているのは、仕事量に見合った職員が、配置されていないということで改善は急務です。

❖ 中小企業資金融資では、緊急特別資金の利用が3倍になりました。中小企業は想定外の資金難に陥っています。融資利率の引き下げの協議も進めるという答弁でしたが、新型コロナの影響が長引く中、誰一人廃業させない決意で、思い切った制度の拡充を求めます。

❖ 小学校では教職員の精神疾患による病休が、5年間で3倍にも増えていることは深刻です。教職員の正確な労働時間の把握と、業務量を減らすこと、教員を増やすことを強く求めます。

❖ 人口あたりの文化芸術費が、政令市中最低という状況が続いていることは全く認められません。文化創造補助金の、活用拡大にとどまらず、負担軽減も含めたいっそうの支援拡大を求めます。

❖ 市のCO2削減目標23%に対して実績は3.9%、地球温暖化が深刻化する中で、この結果は問題です。太陽光発電の補助を増やし、初期費用をゼロにする取り組み等を工夫して、自然エネルギーを増やしていくことを求めます。

❖ 本市は未就学の子どもに対する、認可保育所の定数が、政令市の中で最下位です。待機児童日本一になるのは当然です。新しい生活様式に照らしても、市の責任で、認可保育所を思い切って増やすことは、喫緊の課題です。

❖ 放課後児童クラブの整備も、実体に追いつきません。希望する子どもの数に見合った、施設の増設は市の責任です。国が放課後児童クラブのために用意した助成金を、全額活用して処遇改善を急ぐことを強く求めます。

❖ 昨年度本市の児童虐待件数は3,355件。6年間増え続けています。厚生労働省が示す人口50万人に1か所の児童相談所の通り増設すべきです。

（その他水道料金引き下げ、下水道普及、コミバス拡充等を求めました）



しんぶん赤旗はスマホやパソコンで読める電子版もございます。

しんぶん赤旗

日刊  
(毎日配達されます)  
月3,497円

日曜版  
(毎週配達されます)  
月930円

お申し込みは  
お近くの党事務所か  
黨員までお願いします

日本共産党

検索

日本共産党